

みずほCustomer Desk Report 2023/07/21 号 (As of 2023/07/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	139.70
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	139.65	1.1205	156.50	1.2938	0.6770
SYD-NY High	140.50	1.1229	156.62	1.2963	0.6845
SYD-NY Low	139.11	1.1119	155.90	1.2840	0.6766
NY 5:00 PM	140.07	1.1130	155.90	1.2868	0.6779
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,225.18	163.97	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	14,063.31	▲ 294.71	日本10年債	0.4600%	0.0000%
S&P	4,534.87	▲ 30.85	米国2年債	4.8440%	0.0780%
日経平均	32,490.52	▲ 405.51	米国5年債	4.1044%	0.1233%
TOPIX	2,260.90	▲ 18.07	米国10年債	3.8553%	0.1080%
シカゴ日経先物	32,370.00	▲ 555.00	独10年債	2.4475%	0.0515%
ロンドンFT	7,646.05	57.85	英10年債	4.2695%	0.0540%
DAX	16,204.22	95.29	豪10年債	3.9550%	0.0500%
ハンセン指数	18,928.02	▲ 24.29	USDJPY 1M Vol	11.35%	▲0.15%
上海総合	3,169.52	▲ 29.31	USDJPY 3M Vol	10.37%	0.03%
NY金	1,970.90	▲ 9.90	USDJPY 6M Vol	9.84%	▲0.04%
WTI	75.65	0.36	USDJPY 1M 25RR	▲1.38%	Yen Call Over
CRB指数	274.70	1.61	EURJPY 3M Vol	10.05%	0.03%
ドルインデックス	100.88	0.60	EURJPY 6M Vol	9.74%	▲0.07%

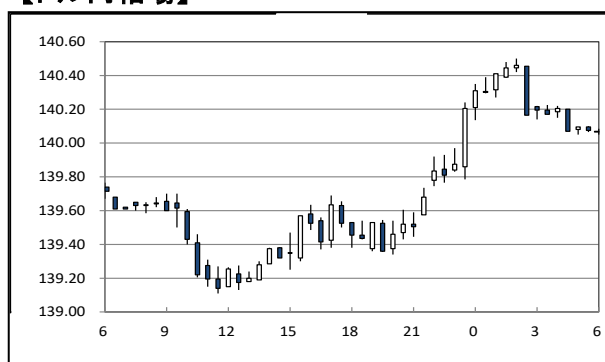
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
7月20日	08:50	日 貿易収支	6月	¥43.0b	-¥46.7b
	10:30	豪 雇用者数変化	6月	32.6k	15.0k
	10:30	豪 失業率	6月	3.5%	3.6%
	15:00	独 PPI 前月比/前年比	6月	-0.3%/0.1%	-0.4%/0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	15-Jul	228k	240k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	7月	-13.5	-10
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月	4.16m	4.20m
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	7月	-15.1	-15.8

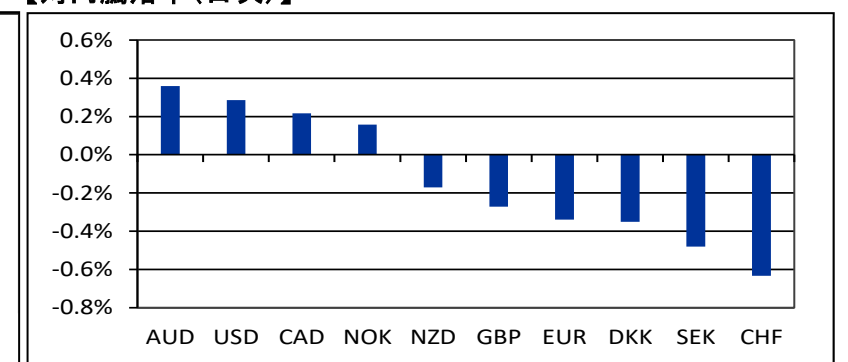
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
7月21日	08:30	日	全国CPI	6月	3.2%	3.2%
	08:30	日	全国コアCPI	6月	3.3%	3.2%
	08:30	日	全国コアコアCPI	6月	4.2%	4.3%
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料) 前月比/前年比	6月	0.2%/-1.6%	0.1%/-1.7%
	21:30	加	小売売上高(前月比)	5月	0.5%	1.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.50-140.50	1.1090-1.1190	155.40-156.40

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な値動きとなった。発表された米国の新規失業保険申請件数が予想外に減少、労働市場の底堅さが確認されて米長期金利が上昇したことを背景に、ドル/円も140.50円まで上値を伸ばす展開に。その後は弱含むものの、140円台前半を維持し、同レベルで引けている。本日のドル/円は底堅い展開を予想する。市場は今月のFOMCでの25bpの利上げをほぼ織り込んでおり、その後の追加利上げの確率も上昇している。一方、28日の日銀金融政策決定会合での政策修正観測は後退しており、円売りドル買いの流れになりやすい地合いとなっている。本日は主要な米経済指標の発表は予定されておらず、米金利が高水準で推移していることもサポートとなり、ドル/円の底堅さは継続すると思われる。

東京	東京時間のドル円は139.65レベルでオープン。日経平均株価のマイナス幅拡大にドル円も軟調に推移し139.11まで下落。下落一巡後は139円台半ば付近に値を戻し139.57レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.57レベルでオープン。米金利上昇を尻目にやや動意薄な展開だった。結局139.58レベルでNYに渡った。なお、本日トルコ中銀が政策金利を2.50%ポイント上げ17.50%とした。予想の3.50%幅には届かなかったが、中銀の着実にインフレに対応している姿勢を見てかリハは若干買い戻された。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台後半でスタート。豪6月雇用統計の予想を大幅に上回る伸びを受け、対豪ドルでのドル売りがドル円にも波及し、139円台前半まで下落する。ドル売りを巡っては、買戻しの展開となり、139.50近辺を挟んだ狭い推移が続く。139.58レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数は予想を下回ったものの、失業保険継続受給者数は予想より悪化。強弱まちまちの結果を受け、特段の方向感はず、反応薄。続いて発表された米6月中古住宅販売件数は予想を下回るも、米金利上昇がサポートとなり、140円台前半まで上昇する。午後にも底堅い推移が続く、50日移動平均線の140.50まで続伸するも、その後伸び悩み、140円台前半まで反落し、140.07レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.12台前半でスタート。独6月PPIや、ユーロ圏7月消費者信頼感指数が予想よりやや良好な内容となるものの、材料視されず、動意薄。1.12台前半を中心とした値動きが続く、1.1207レベルでNYオープン。午前中はドル高の流れに上値を抑えられ、1.11台前半まで下落する。午後にも米金利が高水準で推移する展開が重しとなり、1.1119まで下げ幅を広げる。その後小幅反発し、1.1130レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・田川